

議事録

令和7年度第2回公民館運営審議会 議事録

主管課 生涯学習部 公民館

1 開催日時 令和8年3月27日(金) 午後1時30分～

2 開催場所 富田林市立中央公民館 2階 ホール

3 参加者 【委員】

中島委員長(家庭教育関係者)、

堂之本委員(大阪工業大学 特任教授)、

中道委員(学識経験者)

小田桐委員(富田林市立小中学校長会)

杏中委員(富田林市青少年指導員連絡協議会)、

用木委員(公民館活動者)

湯口委員(公民館活動者)

藤井委員(公民館活動者)

※上田委員(大阪府立富田林高等学校長)は欠席

【事務局】

尾崎(生涯学習部長)

大前(中央・金剛・東公民館長)

葉山(館長代理・司会)

林(中央公民館主幹)

新海(中央公民館主査)

4 開催形態 公開(傍聴人 0人)

5 次第

(1) 尾崎生涯学習部長あいさつ

(2) 委員長あいさつ

(3) 審議

議案第1号 令和8年度公民館事業計画(案)について

中央公民館、東公民館、金剛公民館の順に事業計画案を説明。

【事業計画(案)について質疑】

委員(意見)

東公民館の事業計画に「納涼の夕べ」が抜けているが、とても大事な事業なので入れてほしい。以前は、ホールの空調が故障していて利用できなかったが、今は利用可能だ。

公民館職員(回答)

今も故障中で、夏の暑い中、「納涼の夕べ」を行うのは難しいと思われる。

委員長(質問)

『公民館だより』では、中央と東公民館は講座ごとに QR コードが載っているが、金剛公民館には QR コードが一つだけで、金剛公民館の講座をネットで申し込むにはどうすればよいか。

公民館職員(回答)

金剛公民館の QR コードを読み取ると、申込者の情報は一つだけ入力すればよくて、複数の講座申込が同時にできる。一人が2つ以上の講座を申し込む場合に便利である。

副委員長(質問)

これまで公民館講座の申込は、窓口かハガキのみであったが、インターネットでの申込もできるようになった。ネットによる申込件数も増えているとのこと、申込方法が進化したことについて、対外的に知らせないのか。今まであまり公民館講座に関心がなかった人にも周知を図ることで、スマホなどでの申込も増えるのではないか。

委員長(意見)

広報4月号に、公民館でネット申込ができるようになったというお知らせを掲載すればよかったのではないか。

公民館職員(回答)

今年の春期講座からネット申込ができるようになったのではなく、昨年4月から公民館だより

に QR コードを掲載して、ネット申込受付の試験運用を段階的に行っていた。
公民館だよりの表紙ページに窓口・はがきでの申込に加え、ネットでの申込も可能という案内文を添えている。

また、市の公式 LINE において、LINE 登録者に講座等の案内を通知する広報も始めた。
今後も効果的な広報の方法を検討していきたい。

委員(質問)

金剛公民館の事業計画は、国際交流の欄が空白で、今後国際交流が進んでいくことから事業に取り組むことが必要かと思われる。

金剛公民館のクラブでは、世界の料理をつくっているクラブもあり、ク連でも国際交流の事業に取り入れるべきだと考える。

公民館職員(回答)

公民館主催講座だけでなく、公民館クラブが率先して国際交流の事業に取り組み、市民の学びの裾野を広げていることは、とてもよいことである。

委員長(意見)

次回の事業計画に加えるか、できれば今年度にも取り組んでもらいたいと思います。

副委員長(意見)

事業計画の各分野すべてを埋めるのが望ましいが、それは予算の面や職員の負担が大きいことは理解している。だからこそ公民館クラブのこれまでの活動の蓄積が重要であり、学びの循環につなげることが大切だ。

公民館には、クラブの人材活用をお願いしたい。

委員(意見)

冒頭の部長のあいさつで、富田林市の高齢化率が32%であると、人口が現在10万数千人で、数年後には10万人を切ることが予想される。

日本全国どこも同じような状況であり、高齢化・少子化だからこそ生涯学習が重要となってくる。特に、高齢者にとっては老後に充実した生活を送るためにも生涯学習は大切なテーマだと感じている。

全体を通して2点感じたこととして、公民館3館の連携が必要ということ、例えば中央で憲法月間行事において「荒野に希望の灯をともし」という映画を上映するが、この映画が非常に良い内容のものであれば、金剛でも映画をする予定になっているが同じ映画を上映した方が効率よいのではないか。

高齢者は時間に余裕があり、公民館講座を受ける頻度も高いが、若年層や子どもを対象とした講座、今でもいくつか取り組んでいるがさらに進めてほしい。

もう1点、これからの建物の主流は複合化というニュースを目にした。どこかの部署単独の建物ではなく、さまざまな部署が中に入ってコラボレーションするのが望ましい。この中央公民館・図書館は建設当初から複合化がなされており、先進的な取り組みといえる。

また、いろいろな部署で講座を開催していいかと思う。文化財課の出前授業で、地域で採れた文

化財を小学生に直に触れてもらう、大阪大谷大学さんのソフトパワーを活かした講座など、いろいろな部署と連携することにより、人員面や予算など限られるなかで、持続可能な事業をしていくには「複合化」が必要であると事業計画を見て感じたところである。

公民館職員(回答)

金剛公民館は、12月の人権週間に金剛のクラブ連絡会と共催で映画を上映する予定で、一方、中央では5月の憲法月間に中央のクラブ連絡会と共催で実施する予定である。クラブ連絡会の意見を聞きながら進めていきたい。

委員長(質問)

クラブ連絡会に諮ったうえでプランニングするということであると。複合化で各々連携することにより、行政の縦割りをなくせないか、公民館と図書館との連携や公民館と市長部局との連携などないですか。

公民館職員(回答)

図書館との連携でいうと、3月15日に中央公民館主催講座で、国立民族学博物館の広瀬教授を招いて「点字と展示をつなぐ」という講演会を行った。

中央図書館との連携講座として、図書館では点字付きの絵本や文字が大きい拡大図書など目が見えにくい人でも本を楽しんでもらえることを紹介するコーナーを閲覧室内に設けてもらった。今後もこのような連携を進めていきたい。

委員(意見)

公民館講座にいろいろ体験等を入れてもらえると楽しいかと。小学4年生から6年になると自由研究があり、それに適した講座などがあればよいと思う。

広くいろんな人を集める講座とターゲットをギュッと絞って、例えばスマートフォン講座などでもAIで画像をつくる講座など対象を絞ってもいいように思う。いろんな人にきてもらうのと本当に来てほしい人を絞ったもののバランスが大事だ。

ポケモンなどのカードゲームやラジコン・ミニ四駆など、大人も子どもといっしょに参加できるようなものは、公民館でそれができるかどうか定かでないが、面白いと思う。また、大人だけでなく、子どももついてくるようなDIY教室など、ターゲットを絞ってみるのも面白いと思う。

若者を集めていくという点では、YouTubeも大事だが、インスタグラムや富田林市でも取り入れているがLINEのNOTEがいいのではないかと。

委員長(意見)

公民館としてもいろいろ工夫したりして、様々なことに取り組んでいるが、なかなか気がつかないこともあると思うので、なにかの機会に小中学校の先生に聞いてみるのもよいと思う。

副委員長(質問)

これまで河内長野で、自由研究対策の講座を大阪大谷大学の学生とコラボで実施してきた。申込を開始すると親御さんがすぐに飛びついてくる。

子どもたちに豊かな体験ができる特別な「体験ウィーク」を企画してみてもどうか。地域の子どもが自分たちの校区内でいける、市内に3館公民館があることを活かした地域密着の自由研究体験事業を、公民館クラブの皆さんも巻き込んですることで、今まで公民館を利用したことがない人にも公民館へ来てもらえるよい機会になるのではないか。

委員長(意見)

公民館クラブ連絡会と公民館が連携してできる講座を工夫してもらえたらとてもありがたい。

公民館職員(回答)

公民館では夏休み特集として、公民館だより夏号で子どもや親子で体験できるもの、自由研究に使えるような講座をたくさん企画実施している。

それに加えて、金剛公民館では、クラブの人が自主的に子どもクラブ体験を実施していただいている。

公民館主催講座だけでなく、クラブ連絡会も市の社会教育振興に貢献していただいている。

委員(質問)

金剛公民館のクラブ連絡会がすこやかネットに参加されていますが、昨年は一中校区のすこやかネットのイベントの人と公民館まつりの日が被っていた。

金剛公民館は、どのようにしてすこやかネットに参加できているのか。また、中央と東公民館はすこやかネットに参加されないのかを聞きたい。

あと、一中校区の協議会で話題になったものとして、子どもたちにスマホの危険性を教える講習が申込制で行われているが、人気がありすぎて予約がとりにくい。子どもたちがスマホを持ち始める頃に親子で学べるような講座があってもよいかと思う。

委員(意見)

金剛公民館では、地域と結びつく活動ということで、明治池中学校校区のすこやかネット藤陽中学校校区のすこやかネットにク連の役員が参加し、出店している。ともに公民館まつりと時期がずれているため出店できている。

委員長(意見)

平成12年に大阪府が府内の半分の中学校に補助金を渡して、すこやかネット事業が始まった。明治池中で地域の催しは何をしようか考えていたときに金剛公民館とつながって、第1回目から連携が続いている。

藤陽中も同じように金剛公民館といっしょに活動が続いているが、ほかの地域ではできていない。ただ、このような地域と結びついた活動はとても大事だ。

委員(意見)

以前、公民館まつりとすこやかネットの開催日が重なったこともあったが、今はずらしてもらった。すこやかネット側が金剛の公民館まつりの模擬店に参加するなど、双方の交流が進んでいる。

委員(意見)

たくさんの講座を持続して行っている印象がある。講座をするための企画力やアイデアなど、職員は方々にアンテナをはって情報を集めながら実施しているものと思われる。

公民館事業は、生涯学習や社会教育に基づくものであり、子ども会や青少年指導員など、社会教育関係団体との連携がもっとあっていいように思う。

委員長(質問)

年に2回、社会教育委員会議があり、そこには青少年指導員連絡協議会やスポーツ推進委員が集まって会議をしているが、そこに参加しているメンバーの連携が必要だと思う。

別の質問であるが、相続に係る講座を公民連携講座で実施すると、公の機関と民間が連携すること自体とても有意義ではあるが、特定の団体と結びついているのではないかという懸念や批判が生じると思われるが、どうか。

公民館職員(回答)

この公民連携講座の提案をしたのは明治安田生命であるが、明治安田からは、公民館だより等周知する際に会社名等を出さなくてよい申し出があった。特定の団体・企業に便宜を図っているとみられることはない。

以前は、特定の民間企業が公民館で講座をすることは好ましくないという見方もあったが、現在は民間の持つノウハウや資金や人材などの資源を活用し、行政と民間双方がウインウインの関係となることが求められている。公民連携講座として、今回初めて取り組んだが、様子をみながら進めていきたい。

副委員長(質問)

講座の開始時間を見ていると、働いている人が来られない時間帯にしているものが目につく。公民館はすべての人が利用できる施設というのであれば、働いている人が来にくいようになっていることに対して、どのように考えているか。

公民館職員(回答)

週末に開催している講座もある。晩の時間帯の講座もいくつか実施してはいるが、それで受講

生が増えたということはなく、思うような結果につながっていない。

晩に開催する講座が不要とは思っていないが、時間帯についてはバランスをとることが重要だ。

委員長(意見)

以前は、中央・東・金剛、各公民館に館長と職員が今よりもいて、夜間の講座も組める体制にあった。いくら夜間などに講座をしたくても、職員の人数が少なかつたらできない。働き方改革と言われている中で、あれもこれもできないことへの理解が必要なのではないか。

副委員長(意見)

そうであったとしても、働いている人が受講できないのは、さすがによくない。そこは工夫で乗り切るべきだ。例えば、オンデマンドの講座をネット配信するなど、既に実施した講座を録画しておき、講師の了解を得たうえで、Youtubeで流すといったことも有効だ。

職員の負担は抑えつつ、市民に喜んでもらえるような事業に取り組まれてはどうか。他市などの事例も研修しつつ、すぐにとは言わないので考えていってほしい。

委員長

工夫することによって、解決策が見えてくるはずだ。研究を続けてほしい。

ほかに質問はありませんか。

ないようであれば、令和8年度公民館事業計画(案)について、ご承認いただけますでしょうか。

委員の皆さん、拍手でご承認ください。

【審議:令和8年度公民館事業計画 了承】

公民館職員の皆さんには、この事業計画を基本に、市民及び時代が必要とする学習テーマを常に意識し、充実した事業に取り組んでください。

それでは令和7年度に実施した研修等の報告を大前館長よりお願いします。

- ・近畿公民館大会 京都府福知山市について
- ・南河内社会教育振興協議会 公民館部会について

続いて、令和7年度において特徴ある事業の報告について、各公民館お願いします。

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| ・中央公民館 | 地元の博物館を訪ねる講座(すだれ博物館)、3公民館合同音楽祭など |
| ・金剛公民館 | 人権週間映画「あまろっく」上映、春一番コンサートなど |
| ・東公民館 | 芸大デッサン部による石膏デッサン、スマホ講座 ChatGPT など |

最後に公民館からそのほか連絡事項について、お願いします。

令和8年度公民館の主な行事

- ・公民館運営審議会 令和8年7月、令和9年3月予定
- ・クラブ連絡会定期総会 金剛…4月18日、中央・東…4月25日
- ・公民館まつり 令和8年11月14日(土)・15日(日)
- ・近畿公民館大会 和歌山大会 11月17日予定、

【 令和7年度第2回富田林市立公民館運営審議会 閉会】